



れいわ ねんど よこはましりつみやがやしやうがっこう がっこう がつごう
令和5年度 横浜市立宮谷小学校 学校だより 7月号

みやがや

がっこうきょういくもくひょう
～学校教育目標～

じぶん み ともに みらい こ
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひびきあゆたかなまななかで 自分をみつめ ともに 探究する子
【徳・体】 たくましくしなやかなこころからだをもち 互いを大切にし ともに けんこうな生き方をつくる子
【公・開】 人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子

「地域を盛り上げる祭りの魅力」

校長 鳥山 真

昨年、総合的な学習の時間について6年生の子どもたちが学習材を考えている時のことです。子どもたちが材を選ぶ基準の中に、地域とのつながりというものがありました。地域に出てインタビュー等に取り組んだ子どもたちは、「コロナウイルス感染症の影響で、祭りが実施されず寂しいです」という声を聞き、地域を盛り上げられるような学習活動ができないかということを考えていました。そんな様子を見ながら、地域の皆さんにとって祭りは特別なもので、復活を待ち望んでいる人たちがたくさんいるのだなということを感じました。

そして、令和5年度がスタートし、6月3日、4日は浅間神社の祭礼、6月10日、11日は洲崎神社、橘樹神社の祭礼が行われました。久しぶりの祭りの再開に、子どもたちからも「とても楽しみ。」という声も聞いていました。当日、私も中学校の校長先生、副校長先生、そしてPTAの皆様と各地域を回らせていただきました。勇ましい神輿の様子や各地域が盛り上がっている様子、そして、多くの人出でにぎわう通りの様子や、子どもたちも楽しみにしていた模擬店の様子も見させていただきました。

長い間待ち望んでいた祭りの復活に、大人も子どもも大いに盛り上がったのではないかと思います。そして、祭りの復活により、地域の皆様が集まって交流し、笑顔と笑い声があふれる風景が広がったことと思います。子どもたちにとっても、友達や家族との絆を深めることはもちろんのこと、地域の伝統や文化を体験することで、地元への愛着を感じることもできたのではないのでしょうか。

地域の祭りが再開され、子どもたちも含め、多くの人々が楽しみにしていたその喜びは計り知れないと思います。祭りのにぎわいは、心にほっこりとした温かな感動を与え、地域全体を幸せな雰囲気の中で包んでいるように感じました。私自身もそのような雰囲気を、少しでも地域の皆様や子どもたちと共有できたことが本当に良かったと思っております。夏の地域行事も再開に向けて、各地域で準備を進められているとのことです。今から楽しみに思っております。